

令和5年度青森県原子力防災訓練

11月7日、青森県・東通村・関係周辺市町村の共催により、東北電力(株)東通原子力発電所1号機を対象として、原子力防災体制の確立、防災関係機関の緊急時対応能力向上を目的とし、原子力防災訓練を実施しました。

訓練には、小田野沢、老部、白糠、目名、向野地区から計19名の住民の皆さんを含め、約50機関、約1,100名が参加し、様々な訓練を実施しました(主な訓練項目は以下のとおり)。

主な訓練項目

- ・災害対策本部設置運営訓練
- ・住民防護措置訓練(陸路避難)
- ・安定ヨウ素剤緊急配布訓練
- ・避難行動要支援者搬送訓練
- ・社会福祉施設防護措置訓練
- ・情報伝達訓練
- ・映像伝送訓練
- ・非常食提供訓練

これらの訓練のうち、参加住民の皆さんにご協力いただき、住民防護措置訓練(陸路避難)では、むつ市ウェルネスパーク(青森市内の避難所と想定)へバスにより避難し、避難の途中では、安定ヨウ素剤の緊急配布訓練を行いました。また、非常食を自ら準備し、実食していただく体験や、村の原子力防災についての研修にもご参加いただきました。

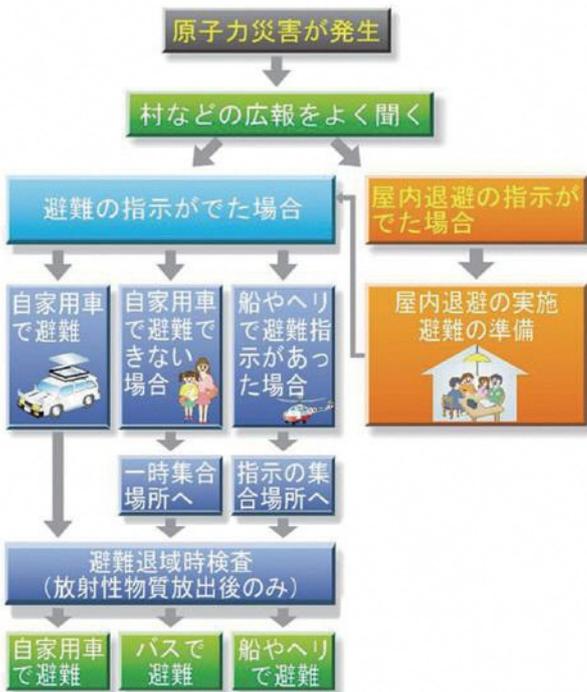
参加住民の皆さんは、原子力災害時の行動等を確認しながら、真剣に取り組まれていました。

村は、原子力防災対策に万全を期すため、関係機関と連携し、今後も定期的に訓練を実施していきます。ご協力ありがとうございました。

原子力防災対策や避難などについては、配布済みの「原子力防災対策ガイドブック」や原子力ホームページをご覧ください。(<https://www.atom-higashidoori.jp/>)



原子力災害時の行動手順



【注意】
複合災害時は、自然災害からの身の安全の確保を優先

各訓練の様子



バスによる陸路避難訓練



安定ヨウ素剤緊急配布訓練



災害対策本部設置運営訓練



避難行動要支援者搬送訓練



原子力防災についての研修



非常食の実食体験